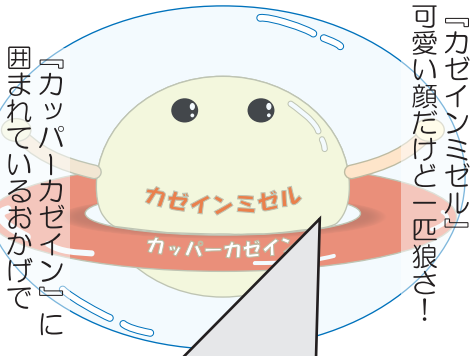
凝乳物語 ～ ミルクからカードになるまで ～

①
おいらの名前は『カゼインミゼル』可愛い顔だけど一匹狼さ！

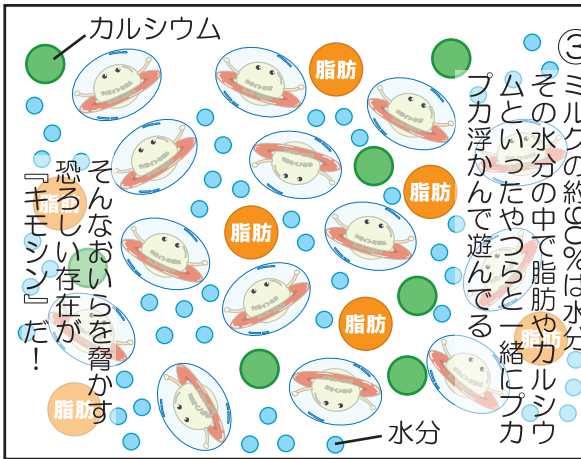


『カッパーカゼイン』に囲まれているおかげで他の仲間とくっつかないでプカプカ浮かんでられる

②
しかし！本当のおいらの姿は『サブミセル』がたくさん集まって体ができている！一万個以上集まっているんだぜ！

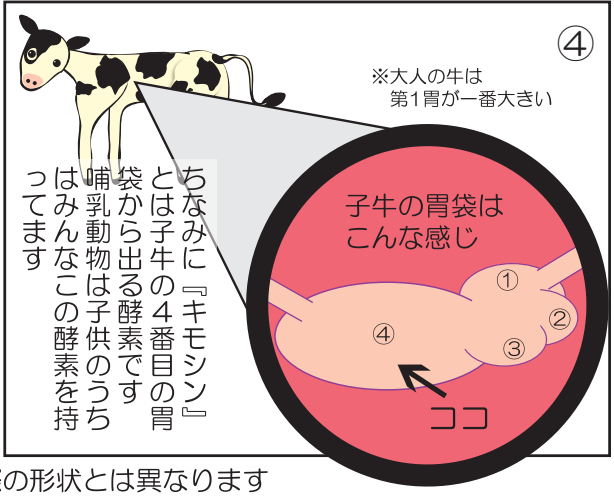
※イメージです
実際はこのように集合していません

③
ミルクの約90%は水分その水分の中で脂肪やカルシウムといったやつらと一緒にプカプカ浮かんで遊んでる



そんなおいらを脅かす恐ろしい存在が『キモシン』だ！

④
ちなみに『キモシン』とは子牛の４番目の胃袋から出る酵素です
哺乳動物は子供のうちはみんなこの酵素を持ってます



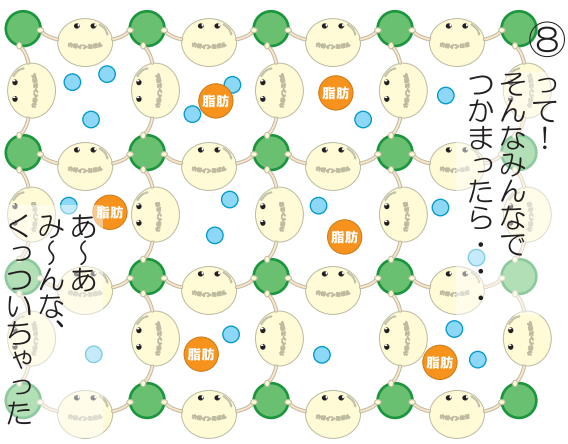
⑤
実は、カゼインミゼルは鎖の様に繋がっていて、105番目と106番目の間にキモシンがアタックしてくると・・・

⑥
あ～れ～！助けて～！僕たちは自分の力では水に浮かんでいられないんだよ～

早く何かにつかまらないと沈んじゃうよ～！
アッ！
あった！

⑦

⑧
って！そんなみんなでつかまったら・・・

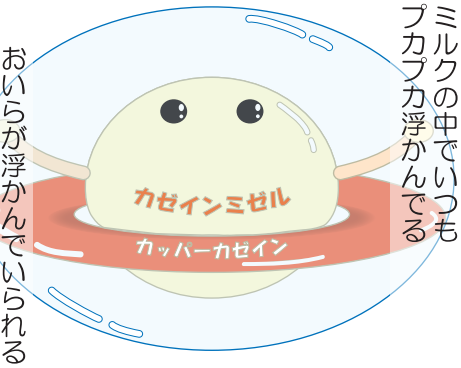


あ～あ
み～んな、
くっついちゃった

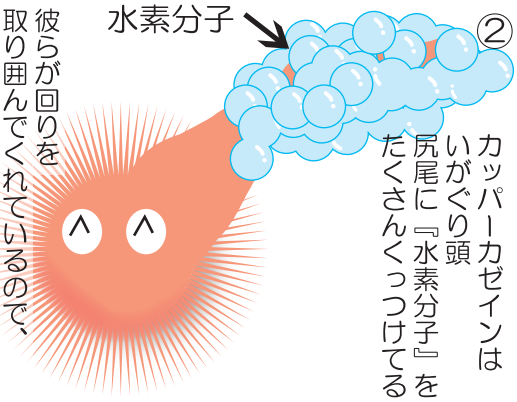
※登場するたんぱく質等の形状はイメージです。実際の形状とは異なります

凝乳物語 ～ 酸凝固編 ～

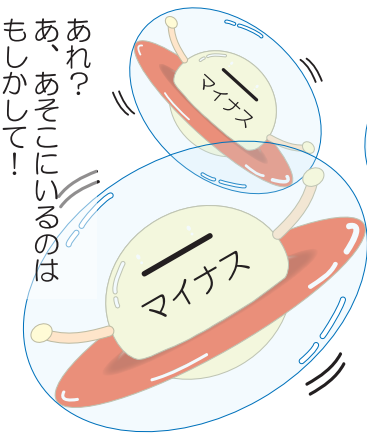
① おいらの名前はカゼインミゼル
ミルクの中でいつも
プカプカ浮かんでる
おいらが浮かんでいられる
のは『カッパーカゼイン』
のおかげさ！



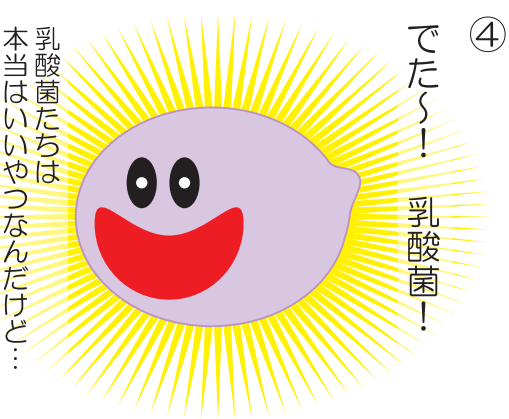
② カッパーカゼインは
いがぐり頭
尻尾に『水素分子』を
たくさんくっつけてる
彼らが回りを
取り囲んでくれているので、
おいらはミルクの中に溶けて
いるように見えるのさ



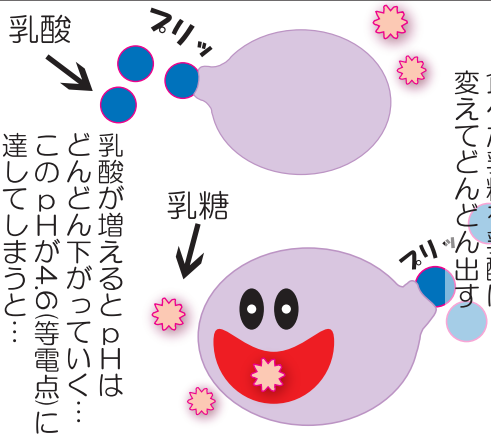
③ 何でカゼインミゼルは仲間同士
で一緒にくっつかないの？
と聞かれるけど、おいら達は
『マイナス電子！』
磁石と同じ、反発し合ってる
あれ？
あ、あそこにいるのは
もしかして！



④ でた～！
乳酸菌！
乳酸菌たちは
本当はいいやつなんだけど…
おいらたちには困る事もある
それは…



⑤ 乳酸菌は乳糖が大好物
そして困った事に
食べた乳糖を乳酸に
変えてどんどん出す

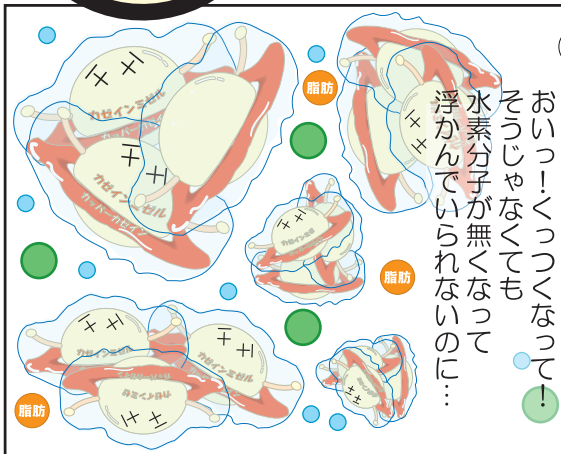


乳酸が増えるとpHは
どんどん下がっていく…
このpHが4.6(等電点)に
達してしまうと…

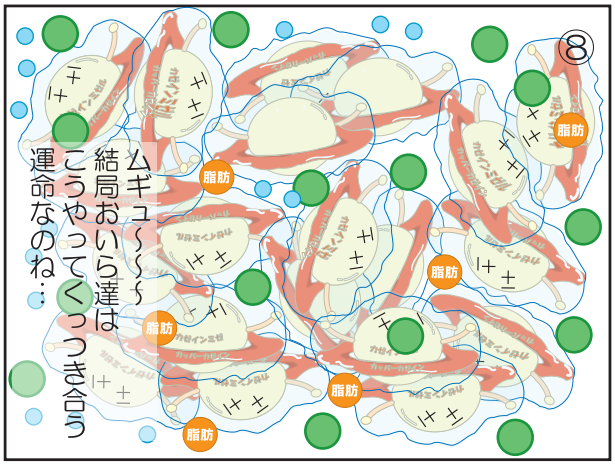
⑥ 等電点になるとマイナス化し
ていた僕たちの体はプラスと
マイナスが等しくなってしま
い…

カッパーカゼイン
に付いていた水素
分子も外れてしま
い…

⑦ あらら…
おいっ！くっつくなって！
そうじゃなくても
水素分子が無くなって
浮かんでいられないのに…



⑧ ムギュ～～～
結局おいら達は
こうやってくっつき合う
運命なのね…



※登場するたんぱく質等の形状はイメージです。実際の形状とは異なります